

北海道大学 × 大雪土地改良区 × JICA 北海道で 挑む次世代スマート農業へのブレークスルー ～超小型衛星リモートセンシング技術を利用した稲作生育診断～

北海道大学、大雪土地改良区、国際協力機構北海道センター(JICA 北海道)は共同で、小型の衛星やドローンを利用した稲作生育診断を行うためのプロジェクトを行っています。大雪土地改良区は石狩川最上流に広がる上川盆地 11,000 ヘクタールの水田に用水を届ける農業組織です。大雪土地改良区は長年に渡り、国際協力に積極的な取り組み行っており、大雪土地改良区の協力のもとで、JICA 北海道はアジア、アフリカからの研修員への用水管理技術の技術移転を行っています。北海道大学と JICA は連携協力協定を締結し、開発途上国での事業展開にむけて研究成果の活用を共同で行っています。北海道大学宇宙ミッションセンター長 高橋幸弘理学研究院教授は世界最高の解像度を持つスペクトルカメラによる衛星観測技術を有しています。北海道大学、大雪土地改良区、JICA 北海道は北海道大学のグループが開発したスマートフォン一体型小型分光器、液晶波長可変フィルタ(LCTF)カメラを搭載した 50kg 超小型衛星を用いて、大雪土地改良区での稲作生育スペクトルデータの収集、同技術を用いた北海道での次世代スマート農業の実用化、そして、その先の開発途上国での事業展開などを目指しています。

7月7日は、大雪土地改良区で土地改良区関係者、JA たいせつ、共済組合への超小型衛星を活用したリモートセンシング技術の説明会を行い、同改良区の協力農家さんの圃場でスペクトルデータ収集のデモンストレーションを行います。ぜひ取材をご検討ください。

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 北海道 研修業務課 砂崎 浩二
 TEL : 011-866-8393 e-mail : Sunazaki.Kohji@jica.go.jp
 可能な限り事前の連絡をお願いいたします。

訪問スケジュール (取材可能日程)

日付	時間	内容・場所
7月7日	10:30～11:30	超小型衛星を活用したリモートセンシング技術の説明会、会場：大雪土地改良区 (旭川市)
	13:00～14:30	稲生育データ収集のためのシンバル設置とデータ収集デモンストレーション 大雪土地改良区協力農家の圃場にて